

倫理委員会議事録

日時 平成 30 年 5 月 16 日 (水)
委員 副院長、統括診療部長、事務部長、看護部長、薬剤科長
指宿養護学校校長、弁護士

課題① 人生の最終段階における患者意思に沿った事前指示書の作成と運用について

(申請者) 循環器科医師 南 圭祐

研究概要 指宿医療センターかかりつけである終末期の患者を対象に心肺蘇生を受けない決定を行った患者、および患者家族に同意を得た後、事前指示書を作成し、運用を開始することで患者本人の意思を尊重することを目的とした。

判定 条件付き承認
本人の意思確認が明らかにできる場合であって、できるだけ直近の意思確認であること

課題② 急性冠症候群に対するエベロリムス溶出性コバルトクロムステント (XIENCE) 留置後の抗血小板剤 2 剤併用療法 (DAPT) 期間を 1 ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究

(申請者) 循環器科医師 鹿島 克郎

研究概要 エベロリムス溶出性コバルトクロムステントを用いた PCI が施行された急性冠症候群の患者を 1 ヶ月の DAPT 群と 12 ヶ月の DAPT 群に無作為に割り付け、ステント留置後 12 ヶ月の心血管/出血イベントの発生率を評価する

判定 承認